

山なみはるか

令和4年6月9日

天龍小学校

全工程を体験できました
～お茶摘み→お茶を味わう会～



その1:お茶摘み

できれば中学校とも同日で実施したかった恒例の「お茶摘み」ですが、なんと！小学校と中学校では新芽の伸びが違うようで、小学校では1週間後の5月16日ようやく実施となりました。講師は熊谷美沙子さんと板倉恒夫さんです。1, 2年生は学校の敷地にある垣根で、3年生以上は学校下にある金田さんの茶畑で茶摘みを行いました。熊谷さんから「一芯三葉」の講義を受け、いざ出陣。葉の先をよく見てみると、今年出た新芽の部分だけみどりが薄くピカピカに輝いていて、そこからつまむと「ポキッ」と柔らかい、でも弾力ある手応えが感じられました。低学年はその手応えを楽しみながらひとつひとつついでいねいにつまみ、「先生一芯三葉がとれたよ」と自慢げに見せる姿もありました。一方高学年はもう慣れたもの。自分が分担している木に両手を伸ばし、端からどんどん摘んでポポに入れていきます。ポポがいっぱいになると、回収部隊がみんなの葉を集め大きなネットに入れていきました。当日はそんなに暑くもなく、とても作業がはかどりました。役場の地域振興課の方々やありが隊のみなさんにも助けていただき、1時間ほどの作業で22kgの収穫があり、製茶工場で4kgのお茶になりました。



その2:手もみ体験

一休みの後、今度はエプロン、帽子、ゴム手袋をつけ手もみ体験です。この日のために熊谷さんが専用の台を学校まで運んでくださいました。自分たちが摘んだお茶の葉を、下からじわじわと火であぶりながらくるくる丸めていきます。もみ方は段階や乾き方によってたくさんあるそうですが、子どもたちは工程に合わせてその中のいくつかを体験させていただきました。2人ずつ順番に行ったので、ひとりがもんだ時間は5分程度でしたが、その中でもみるみると手触りや葉

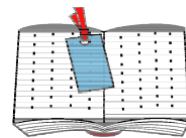
の形が変わっていくのを目の当たりにした子どもたちは、「葉っぱの色が変わってきた～」「温かい」「手がお茶のいいにおいがする」など、さまざまな感想を口にしていました。

その3:お茶を味わう会

午後には、熊谷さんが仕上げてくださいました手もみのお茶を味わう会です。全校が集まって一番茶、二番茶、三番茶を順番にいただきました。低い温度で渋味を出さずにゆっくり入れた一番茶は「甘い」「飲んだことない」の声が。熱いお湯で入れた二番茶では「いつもの味だ」「ちょっと渋い」「飲みやすい」、三番茶では「これが一番好きかも」などなどさまざまな感想が聞かれました。午後はお母さんに代わって娘の熊谷美月さんが入れ方を教えてくださいました。最後に水分を吸収して十分広がった茶葉にポロン酢をかけておひたしをいただいた子どもたちはとても満足げでした。熊谷さん、板倉さんありがとうございました。



特集 ～春の読書週間～



天龍小学校では、今年度の重点項目のひとつに「読書」をあげています。これは、昨年度、子どもたち、保護者の方々、学校職員に向けて行った学校自己評価の中で「読書」は達成度が低かった項目のひとつであり、職員で話し合った結果今年度改善していこうとなったからです。また、読書は子どもたちの成長や学習、習慣等に大きな影響を及ぼすと考えられており、子どもたちの生活の中に読書を位置づけ本に触れることが当たり前になってほしいという願いからです。天龍村の教育大綱の中にも「読書」は大切な項目として取り上げられていて、小学校は毎年新しい本を買うためにたくさんの予算をいただいていますし、子どもたちは毎年誕生日になると「バースデーブック」として自分が好きなを一冊買っていただけることになっています。

ということで今回は、5月23～27日に行われた読書週間についてお知らせします。

その1 朝読書

今年度天龍小学校では、まず毎朝読書をして、落ち着いた学校生活のはじまりをつくろうと、10分間の朝読書を日課に位置づけました。時間になると、子どもたちは図書館で借りた本や教室の中にある学級文庫を取り出し黙々と読んでいます。(低学年の子どもの中には音読をする子もいます) 学校全体がシーンとして、読書にはまり込んでいる空気がとても気持ちのよいものになっています。

その2 読書ボランティア

朝読書の時間には、読書週間にかかわらず、年間を通して計8回村の読書ボランティアの方に読み聞かせをお願いしています。平松和子さんが中心となって呼びかけてくださり、毎回2、3名が来校して各教室で本を読んでもらいます。今回は25日の朝、遠山直代さん、遠山巳好さん、内藤有香さんの3名が来てくださり、それぞれ5年生、3、4年生、1、2年生に読み聞かせを行っていただきました。読んでくださる本も、各ボランティアの方々が季節や担当学年、「こんなふうに聞いてもらいたい」という願い等に合わせて毎回選んでくださっており、子どもたちにとっては、新しい本との出会いの場にもなっています。

その3 図書委員による全校集会

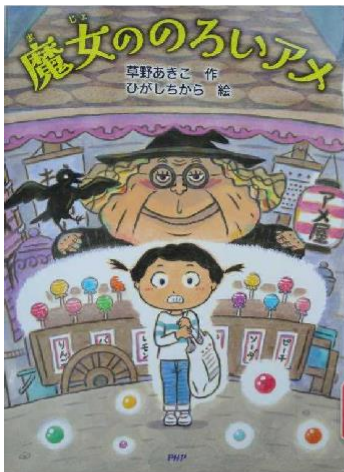
今回の読書週間に合わせ、初日に図書委員会が全校集会を開きました。まず、委員全員で『ぎょうれつのできるパンやさん』の劇を発表してくれました。次に、委員のみなさんの本の紹介がありました。ひとりひとりの好きな本なので、さまざまなジャンルの本があり興味をそそるものも多く、また、それぞれが読みたくなりそうな紹介文でした。その日から早速借りている子どももいたほどです。紹介された本を見てみると...最近の子どもたちには怖い本が人気そうですね。



図書委員長 宮澤 心優さん
私がおすすめる本は、「あやしいジュース」です。これは中学年向けで、ゾクゾクするところはジュースを飲んじゃうところです。ジュースを飲んだらどうなるでしょうか。つづきは読んでからの楽しみです。ぜひ読んでみてください。

副委員長 熊谷一輝さん
ぼくがおすすめる本は「不思議駄菓子屋銭天堂」です。この本のおすすめるところは、悩みを抱える人たちの悩みを解決してくれるけど、結局は自分のことは自分で解決しないといけないと教えてくれるところです。ぜひ読んでみてください。

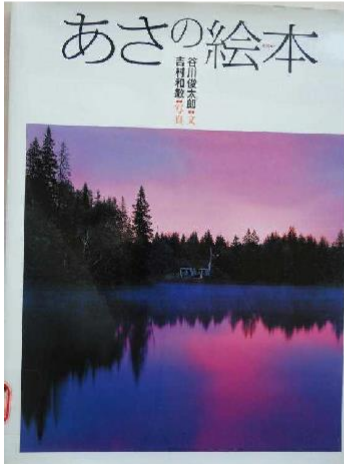




図書委員 遠山藍さん
 私がおすすめる本は、「魔女ののろいアメ」です。この本は、魔女が女の子のサキにアメを渡して、サキのお姉ちゃんをのろうというお話です。おもしろいと思うところは、サキがお姉ちゃんの悪口を10コ言うところです。おもしろくてドキドキするのでみなさんも読んでみてください。



図書委員 熊谷奈菜美さん
 私がおすすめる本は「がんばれゆうくん1年生」です。なぜこの本を紹介したかということ、おもしろかったからです。特にゆうくんが保育園のデブッコに「お前、どこのようちえんだ？」と聞かれるところです。だけどゆうくんがブランコから落ちたデブッコを助けるところが好きです。理由はひとりで行動を判断していたからです。私が1年生でもそんな考えが思いつかないからです。ぜひ読んでください。



図書委員 宮澤羽仁さん
 ぼくが紹介する本は「朝の絵本」です。朝の写真がいっぱいあります。家と海がいっぱい出てきます。植物も出てきます。とても楽しいです。みんなもぜひ見てください。



図書委員 橋爪憂さん
 私が紹介したい本は、「カレー地獄旅行」です。表紙が怖そうだからこの本にしました。みちひとくんというお兄ちゃんはカレーに入っているにんじんがだいらいです。そんなみちひとくんが、カレーの世界に入ってしまった、みちひとくんは、えんま様と会ってしまったのです。そのえんま様はカレー地獄の中のえんま様です。ぜひ読んでください。

その4

本にちなんだ献立 ～給食～

読書週間中は、給食に図書館にある絵本にちなんだ献立が出ます。今回

も初日から『なっとうぼうや』から納豆サラダ、『おしゃべりなたまごやき』からハムエッグ、『11 ぴきのねことあほうどり』からポテトコロッケ、『おおきなかぶ』からかぶのサラダ、『ひみつのカレーライス』からチキンカレー...と、毎日本の紹介と共にバラエティーに富んだおいしい給食をいただきました。これらの本もぜひ手に取って読んでみてください。



その5

下沢洋子先生の読み聞かせ

読書週間中には、毎回元上郷図書館館長の下沢洋子先生をお呼びして、連学年ごと子どもたちに読み聞かせ

を行っていただいています。今回は「読書つておもしろい」というテーマで、昔から読み継がれている本を4～5冊ずつ読んでいただきました。下沢先生には、職員向けにも読書に関する講演を行っていただいています。詳しい内容は秋の読書旬間のところで紹介したいと思います。



天龍小学校の図書館にはたくさんの本がそろっています。これらの本を、子どもたちだけでなく、多くの皆様にも手に取っていただきたいと考え、今後保護者の皆様、地域の皆様にも貸し出しを行っていきたくと思っています。図書館には、本を読みやすい畳スペースもあります。ぜひ一度小学校図書館へお立ち寄りください。

今年もたくさん拾いました！ ～天龍ピカピカ大作戦～



5月26日、暑くもなくさわやかな気候の中、恒例の天龍ピカピカ大作戦が実施されました。今年度は6年生がいないので、その分5年生が事前学習で、下級生に実際のゴミや回収する袋を用意して分別の仕方を教えたり、グループごとにクイズを出して正しい分別の仕方を確認したりしました。また、川の上流に住んでいる私たちが何気なく捨てたプラスチックゴミが、川を流れて海まで行き、マイクロチップになって海に住む動物が間違えて食べてしまうという悪循環についても学習しました。



当日は、1, 2年生が月見大橋から和知野川キャンプ場付近、3, 4年生が駅周辺から千代峡トンネルを経て学校まで、5年生が羽衣崎橋から平岡ダムまでをそれぞれゴミを拾って歩きました。この活動では、役場建設課のみなさん、建設事務所のみなさん、ありが隊のみなさんなど多くのみなさんに、集めたゴミを運んでいただいたり、安全にゴミ拾いができるよう周囲の交通整理をしていただいたり等ご協力いただきました。ゴミを拾ったり分別したりする中で、「車が停まれる場所に細かいゴミがたくさん落ちている」などの気づきや、「村がきれいになってよかった」という思いと共に、落ちているゴミを減らすためにはどうすればいいか、自分たちはゴミを捨てないようにしよう...など、さまざまな思いを持つことができました。協力していただいた皆様ありがとうございました。

正しい自転車の乗り方は...?? ～交通安全教室～



5月30日(月)には、交通安全教室が行われました。阿南署から板倉さん、天龍村駐在所の溝口さん、交通安全支援センターから岩島さん、木下さん、横川さんにお越しいただき、1, 2年生は正しい歩行の仕方、3～5年生は正しい自転車の乗り方について学習しました。普段自転車に乗り慣れている子どもたちも、「正しい乗り方」になると大苦戦。足を使わず両手のブレーキをかけて自転車を止める方法や、自転車が止まったら(自転車を運転しはじめ)ヘルメットにかけ、降りるときは左側に降りる練習を繰り返し行いました。「足でも自転車は止まるじゃん」「なぜ右から降りちゃいけないの?」と、普段とは違う乗り方に子どもたちから口々に質問が出ますが、ケガをしないよう安全に止まるためにブレーキを使う、後ろから来る自動車に巻き込まれないよう降りるときは自転車の左側に降りる、など、ひとつひとつ丁寧に教えていただきました。歩行時の左右確認や手をあげて渡ること等さまざまなルールの確認をすると共に、ルールを守ることは、自分が安全に生活することにつながることに、特に自転車は軽車両のため、道路で乗ったら責任が伴うこと等についても学習しました。

陸上大会に応援ありがとうございました！



5月22日(日)に飯伊陸上大会があり、1年生1名、2年生4名、3年生1名、4年生1名がそれぞれ短距離走に出場しました。他校の児童と対戦するのが初めての子どもも多くみんなドキドキでしたが、練習したことを出してくることができました。練習も含め、大会参加は心身共に大きく成長するチャンスとなります。朝早くから会場に送迎をしてくださり応援していただいた保護者の方々をはじめ関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。